

## これまでの検討委員会で出た意見等の整理について

## 1. 第1回・第2回の検討委員会の内容

## 【第1回検討委員会】

## ◆市長から検討委員会へ諮問

諮問事項1 今後の本市における公立園の担うべき役割について

諮問事項2 教育・保育の適正な提供体制等について

## ◆事務局より門真市の人口動態等の現状や就学前の教育・保育を取り巻く現状等について紹介

⇒本市の人口が年々減少しており、今後も人口は減少すること、就学前人口についても10年後には約22%減少することや、公立幼稚園の在園児数が大きく減少している状況、公立園の老朽化や耐震工事ができずに仮園舎で対応している状況等について報告

## 【第2回検討委員会】

## ◆小学校区別の就学前児童人口の減少率の紹介や、地域子育て支援について、公立幼稚園・認定こども園の通園バスについての補足説明

## ◆「公立園の最適化にかかる市の考え方」について報告

(公立園の果たすべき役割)

- ①門真市就学前教育・保育共通カリキュラムに基づく教育・保育実践の先導的な役割
- ②地域子育て支援を実施する拠点の1つとしての役割
- ③適切な対応や配慮を必要とする障がい児保育などを充実させるための先導的な役割

(公立園の再編)

公立園を南北に分かれる教育・保育提供区域に1園づつとする。すなわち3園設置している国道163号以北の地域において民営化や統廃合を進め、公立園を1園とする。

## 2. 第1回・第2回の検討委員会で出た意見

※公立園の最適化に関する市の考え方等に対して、検討委員会で上がった意見を下記の通り整理（四角の枠内が各委員からの発言内容）

### ①検討委員会のあり方について

- ・最適化の定義が必要ではないか。
- ・最適化というのが、単なるスケールの最適化なのか、公立の役割を含めてのものなのか、それが公立から次の段階にいけるような役割を含めてのものなのか。
- ・スケールだけではなく、門真市の教育・保育をもっと良くしていくための議論にしたい。

### ②公立園の最適化にかかる市の考え方について

#### 【公立園の果たすべき役割】

#### (1) 門真市就学前教育・保育共通カリキュラムに基づく教育・保育実践の先導的な役割

- ・私立園同士は月1回の交流があり、私立の保育園、幼稚園の交流も年に1回実施しているが、公立園、私立園の交流はあまりない。
- ・公立園が先導役を担い、園の保育内容の公開や民間園との交流、研究会や研修を実施しフィードバックをしていくことで、市全体の教育・保育の向上につながると思う。
- ・公私の保育園、幼稚園、小学校が共通した意識のもとで就学前教育・保育共通カリキュラムに沿った教育・保育に取り組み、連携することで、子どもの成長につながるのではないか。
- ・幼稚園と小学校との人事交流は公立だからこそできる。幼少連携の核として推進していくリーダーにもなれる。そこに公立園としての役割があるのではないか。
- ・大和田幼稚園は大幅に定員割れをしているが、先導的な役割が果たせているのであればそのようなことにはならないのではないか。
- ・公立園の役割は果たしていると思うが先導的となるとどうか。

## (2) 地域子育て支援を実施する拠点の1つとしての役割

- ・市の施策を知ること、子育てが楽になる保護者もいると思うが、現場の職員も施策を知らないことが多い。
- ・園が情報の提供をしていくことは大きな仕事である。
- ・園によって延長料金が発生する時間に差がある。18時以降も預かってもらえる園はありがたい。
- ・門真市には夜間保育園がない。近隣市（寝屋川市）にはある。市に1つあれば21時22時まで仕事をされている方が利用できる。しかし民間園でとなると、保育士の確保が難しく、とても対応できない。
- ・遅くまで働いている人は生活費を稼がないといけない方が多い。延長料金を無くすというのも支援になる。

## (3) 適切な対応や配慮を必要とする障がい児保育などを充実させるための先導的役割

- ・民営化した場合、最初は混乱があると思われる。また、障がい児の受入が多いので、民営化した場合、（園とは別に）継続して通えるようなところを確保しなければならない。平行通園できるような形がいいと思われる。
- ・平行通園を行う施設は公立でやらなければならないわけではなく、民間でもできると思う。
- ・保育園や幼稚園の先生の対応にも限界があるので、言語支援や療育支援については専門職が対応すべき。
- ・民営化となった場合、障がい児の受入は民間園で担っていかなければならなくなる。
- ・そうなった場合、手がかかる子には手をかけるので、手がかからない子には手をかけない状態になりかねない。公立園がそうならないようにしているのであれば、かなり疲弊しているのではないか。
- ・専門的な先生がそこに入って言語・療育をみることで個別に対応しているなら別だが。
- ・130人の定員で50人しかなくて、障がいの子が多いとなると、障がいのない子の保護者は（大和田幼稚園を）選んでいないことになる。
- ・（事務局）障がい児への加配はあるので、元々の先生のみで教育を行っているわけではない。

- ・（事務局）障がい児の人数だけで見ると多いが、全てが最重度の子どもというわけではない。
- ・（事務局）公立園に多い理由として、園長の話では、私立の体制が整っておらず受け入れてもらえない子やこども発達支援センターからの紹介で来られている子もいるとのことである。
- ・多様化したニーズに公立園が全て対応するならば公立のニーズはある。夜間保育や休日保育をする、障がい児を全て受け入れる等、ある程度の人員をキープして、民間では手が出しにくいところをやっていくというのは、1つの役割としてあるのではないか。

### 【公立園を南北1園に再編することについて】

- ・園を選ぶ際には、公立園、私立園の意識よりも、家からの近さや保育内容を考える。
- ・民営化となった場合、これから子どもが減っていく中で受けてくれる法人がいるのか。
- ・市に金がないから法人に払ってもらおうというような民営化にならないようにしてもらいたい。
- ・大和田幼稚園は子どもが少ないぐらいで問題がないかもしれないが、浜町保育園は早く仮設から出してあげたい。
- ・人口が減ってきているので、今年度は小規模保育施設への入園状況がよくない。このままだと数年でなくなる場所も出てくるのではないか。

### ③その他の意見について

- ・（公立園の役割として）公立園にコストをかけて、保護者から利用料をもらわないとなると、民間の経営を圧迫するので困る。
- ・若い世代が移り住むような施策を考えないと門真市が立ち行かなくなる。
- ・保育園、幼稚園は小学校との連携を密にしていくことで、子どもの成長につながる。そこに家庭も入って連携をするべき。
- ・園と小学校との連携は校長先生によって差がある。
- ・私立園は特色をアピールしているので、保護者はいろいろ検討をされるが、公立園はあまりないので、わからないと思われている方が多いように感じる。良いところがあればもっとアピールするべきではないか。

- 若い世代に共働きが多いとしたら、その人達が暮らしやすい、子育てしやすい自治体になると、人口も増えてくるのではないか。
- 若い世代にはわかりやすい施策を提示すべき。
- 待機児童が解消されても保育士が必要なくなるわけではない。保護者のニーズが多様化すると、むしろ数が必要となる。保育士を確保し、多様なニーズに対応できる自治体は若い世代を取り込みやすくなる。